

コンクリートメンテナンス協会がフォーラム

## 建造物の補修・補強法は

開発局など官民合わせ250人参加



究などを重ね、

現在全国で会員

四十七社。

フォーラムは

二〇〇六年から

毎年全国規模で

開催しており、

ことしは全国十

八カ所で開催。

参加者は約四千

人に上る。

た。

このあと、「定量的な補

修工法選定と具体的な適用

事例」をテーマに、開発局

の岡田務道路保全対策官や

一般社団法人セメント協会

の持田泰子氏、コンクリー

ト診断士の中丸大輔氏、工

学博士の江良和徳氏、ダイ

クレ興産㈱の光永浩一氏が

講義。コンクリート劣化の

原因や断面修復、補修工法

選定の基本的な考え方、亜

硝酸リチウムを用いた塩

害、中性化、ASRの補修

技術などについて説明し

た。

参加者たちは、メモを取

るなど熱心に聞き入ってい

た。

十人が参加し、コンクリー  
トの劣化の原因や補修工法  
選定の仕方、最新の補修技  
術などについて理解を深め  
た。

同協会は一九九七年、海

砂や融雪剤による塩害、A

SRの発生などでコンク

リート劣化が多発していた

広島県で発足。技術研修や

大学・学術機関との共同研

この日の北海道会場には  
開発局、札幌市、旭川市な  
どの発注者をはじめ、設計  
者、施工業者、大学関係者  
ら約二百五十人が参加。

冒頭、徳納会長が登壇し

「コンクリート補修は難し

いと言われるが、補修のシ

ナリオをルールに従ってデ

ザインすると決して難しい

ものではない」などと訴え

原因や断面修復、補修工法  
選定の基本的な考え方、亜  
硝酸リチウムを用いた塩  
害、中性化、ASRの補修  
技術などについて説明し

た。

参加者たちは、メモを取

るなど熱心に聞き入ってい

た。

一般社団法人コンクリー  
トメンテナンス協会（徳納  
剛会長）主催の「コンクリー  
ト建造物の補修・補強に関  
するフォーラム」が二十三  
日、札幌コンベンションセ  
ンターで開かれた。写  
真。官民合わせ約二百五

大学・学術機関との共同研

ものではない」などと訴え